

2018年5月2日

**GWの最後に流星観測はいかが？“みずがめ座η流星群”がピーク！
1時間に流星50個!?“世界の星空”ニュージーランド・テカポから生中継
～流星動画を届けるアプリ「ウェザーニュースタッチ」の『流星キャッチャー』、登録開始～**

株式会社ウェザーニューズ(本社:千葉市美浜区、代表取締役社長:草開千仁)は、ゴールデンウィーク(GW)最終日の6日夜に、“みずがめ座η流星群”の様子を24時間生放送番組「ウェザーニュースLIVE」にて生中継します。“みずがめ座η流星群”は、南半球では1時間に50個程度流れる大型の流星群として知られています。そこで、今回の中継は“世界の星空”と称されるニュージーランドのテカポから実施します。番組は、ウェザーニュースのウェブサイトの他、ニコニコ生放送、YouTube Live、LINE LIVE、Periscope、FRESH!など各種動画サイトでご覧いただけます。また、中継で捉えた流星の動画が3分以内にスマホに届く通知サービス、スマホアプリ「ウェザーニュースタッチ」の『流星キャッチャー』に登録しておく、どこにいても天体ショーを楽しむことができます。

日本など北半球の中・高緯度では、放射点が低いため、南半球よりも流星の見える数が少ないですが、条件の良い所では、1時間に5個程度の流星が観測できる可能性があります。ただ、6日夜～7日明け方は、低気圧や前線が通過する影響で、日本での観測は広範囲で難しい条件となります。ぜひ『流星キャッチャー』や中継映像で流星をお楽しみください。

※天候条件によってはテカポ以外からの中継(国外)となる可能性もあります。

本プレスリリースの素材のダウンロード	『流星キャッチャー』の登録や“みずがめ座η流星群”の詳細はこちら	
ウェブ版プレスリリース 「みずがめ座η流星群」 https://jp.weathernews.com/news/23206/	スマホアプリ「ウェザーニュースタッチ」を ダウンロード後、「星空 Ch.」にアクセス	ウェザーニュースウェブサイト 「みずがめ座η流星群」 https://weathernews.jp/eta-aquarius/

◆世界の星空、ニュージーランド・テカポから“みずがめ座η流星群”を生中継！

ウェザーニューズは、6日23時～25時に24時間生放送のお天気番組「ウェザーニュースLIVE」にて、“みずがめ座η流星群”の様子を特別番組にて生中継します。中継場所であるニュージーランドのテカポは、“世界の星空”と称されており、極上の星空を堪能できる街として有名です。番組は、ウェザーニュースのウェブサイトの他、ニコニコ生放送、YouTube Live、LINE LIVE、Periscope、FRESH!、Facebookライブ動画など各種動画サイトからご覧いただけます。

また、今回はLINE LIVEの公式アカウント「LIVEチャンネル」にて、LINE LIVE限定番組をお届けします。LINE LIVE限定番組では、星空解説の専門家“星のソムリエ”らをゲストに迎え、流星の観測ポイントなどをご紹介します。



▼2017年“みずがめ座η流星群”の様子

<https://youtu.be/4m5SiKK0Wgl> (中継場所:テカポ)

▼6日の番組スケジュール

①20時～23時 LINE LIVE 限定番組(中継場所:テカポ、国内1か所)

【LINE LIVE】 <https://live.line.me/channels/21/>

②23時～25時 みずがめ座η流星群特別番組(中継場所:テカポ)

【YouTube Live】 <https://youtu.be/f3RSU5cwhdw>

【FRESH!】 <https://freshlive.tv/weathernews/207489>

【LINE LIVE】 <https://live.line.me/channels/659/upcoming/8248619>

◆流星の感動の瞬間がスマホに届く『流星キャッチャー』

『流星キャッチャー』は、中継で捉えた流星の動画が3分以内にスマホにプッシュ通知で届くサービスで、スマホアプリ「ウェザーニューズタッチ」の『星空 Ch.』から登録できます。

6日23時～25時は、ウェザーニューズのスタッフが流星中継映像をモニタリングし、流星が確認されると同時に動画を編集して、登録している方のスマホにプッシュ通知でお届けします。プッシュ通知から開いた画面では、流星の動画をすぐにご覧いただけ、どこにいても流星観測ができます。

今回はニュージーランド・テカポの流星をお届けするので、事前に『流星キャッチャー』の対象エリアを“全国”で設定してください。



『流星キャッチャー』
通知画面サンプル



『流星キャッチャー』
動画の再生画面サンプル

◆南半球では1時間に50個の大型流星群！日本では6日深夜～7日明け方が観測チャンス

“みずがめ座η流星群”は、ハレー彗星が宇宙に残した“ちり”が、地球の大気圏に入ることによって流れ星として観測される流星群です。三大流星群(1月の“しぶんぎ座流星群”、8月の“ペルセウス座流星群”、12月の“ふたご座流星群”)に次ぐ規模で活動をしています。

毎年GWの時期に観測され、南半球では1時間に50個程度流れる大型の流星群として知られています。一方、日本など北半球の中・高緯度では、放射点あまり高く昇りません。そのため、南半球に比べると流星の見える数が少なくなります。



6日3時頃 東南東の空(東京)

今年の出現ピークは6日17時頃で、日本では6日深夜から7日明け方が流星観測に適した時間です。また、この流星群はピークがなだらかなので、GW期間中は毎日明け方近くに観測のチャンスがあります。ただ、今年は放射点が昇る頃に月が出ているため、月明かりが邪魔をしようです。

晴れて街明かりの少ない所では、1時間に5個程度の流星が観測できる可能性があります。東の空に見える

みずがめ座付近から四方に、特に下から上に向かって光がのびる様子を観測できるので、ぜひ東の空を眺めてみてください。

◆気になる天気は？ 広範囲で難しい条件、沖縄や北海道(道北)で観測チャンスあり

6日夜～7日明け方、中継を実施するニュージーランドのテカポでは、やや雲が広がりやすいものの、観測のチャンスがあります。

一方、日本では低気圧や前線が近づいて来るタイミングとなります。全国的に天気の崩れる所が多く、厚い雲に覆われるため、残念ながら流星観測には難しい条件となります。北海道は、低気圧

や前線の接近するタイミングが遅くなれば、道北を中心に観測のチャンスが出てくる予想です。また、沖縄は湿った空の影響で雲が多めではありますが、雲の隙間から観測のチャンスがありそうです。

予報が変化する可能性もありますので、最新見解を随時ご確認ください。

※本予報は2日時点のものです。最新のマップはスマホアプリ「ウェザーニュースタッチ」の「星空 Ch.」、またはウェザーニューズウェブサイト「みずがめ座η座流星群」(<https://weathernews.jp/eta-aquarius/>)にて随時更新します。

